

H 2 9 学校評価の概要

対象	項目	具体的方策	評価結果と課題、次年度への改善策等
学習指導	学ぶ姿勢の育成と授業の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 6 分 7 時限授業および特進・一般クラス導入による学習指導 ・ 学習習慣を確立するための小テスト・課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ きめ細やかな指導の実現をねらいとした 4 6 分 7 限授業は生徒・保護者ともに概ね高評価を得ている。また、生徒の理解度に即した授業の実現をねらいとした特進・一般クラスは 2, 3 年生の生徒と保護者から概ね高い評価を得た。 →今年度は、1 年学年団のきめ細かい働きかけにより新 2 年理系及び文系特進の希望者が増加。 ・ 家庭学習の定着をねらいとした小テストについては生徒からの評価が低下した。 →家庭学習時間の数値改善は喫緊の課題である。学習意欲の喚起につながる授業改善などの取り組みを検討。教員間の授業公開を継続実施。
生徒指導	基本的生活習慣の確立と自主・自律の精神の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣の向上を目指す指導の徹底 ・ 自己の言動に責任を持たせる指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の校門指導などの継続により、昨年度と同程度の遅刻者となっている。また、身だしなみ・マナーが守れているとした生徒の自己評価も良好である。 →自転車通学者の安全運転意識のさらなる向上を検討。警察等との連携を推進。 ・ 自己の責任ある行動については、さらに改善必要性を感じる教員が多い。 →きめ細かく粘り強い指導とともに、生徒の自主性を育てる指導の在り方を検討。
進路指導	適切な進路選択と自己実現に向けた努力を続けることのできる生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 年生からの進路指導の充実や・校内および校外模擬試験の効果的な利用 ・ 2, 3 年生での適性に合わせたコース選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・ こまめな情報提供など、進路指導に関しては、生徒からは概ね高評価を得たが、保護者からはやや評価が低下した。今年度も、低学年での校内外の模擬試験の受験者数増加が継続している。 →各自の自己実現に対する意識の向上図るための段階的な進路指導の在り方を検討。 ・ 2 年生からの文理コース分けや 3 年生での選択科目の豊富さに関しては高評価を得た。 →生徒各自の特性や志望とコース・科目選択のさらなる適正化を検討。